



## 目次

● 厚生労働大臣 地域医療の現場を視察	2
● 面会についてのお願い	3
● ネットワーク 片町医院	4
羽場医院	5
● 院内保育所開設のおしらせ	4～5
● 家庭でできる リハビリテーション 食事でムセることはありませんか？	6
● 検査の窓 「できもの(腫瘍)」ができた時の検査	7
● 皆様の声にお答えします	7
● 話題の広場 □ ビーコンサート 健康講座	7
● ご案内 後期高齢者医療制度がスタートします	8
● 職場紹介 腎センターの紹介	8

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康と快適な生活を支える病院を目指します

### 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに信頼される医療を行ないます
- 2 私たちは、高度で良質、安全な医療を提供します
- 3 私たちは、中核病院として、地域の医療機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意・熱意・創意をもって患者さんに接します

1月19日



舛添厚生労働大臣と語る国民対話集会「希望と安心の国づくり」に先立ち飯田市立病院の視察が行われました。

牧野飯田市長から「安心して子供を生み育てるために産科医療体制を守らねばならない。しかし、深刻な医師不足で土俵際で踏みとどまっているのが現状で地域医療へ格別の配慮を願う」と述べた事に対し、舛添厚生労働大臣は「地域医療の現場の問題や悲鳴を素直に上げていただき、日本の医療体制の拡充、改革につなげたい。長期ビジョンと喫緊課題への対応との両輪で進めたい」意向を示されました。

千賀院長は飯伊地区の産婦人科機関の分娩の取り扱いを中止後、残る地域の医療機関が連携して行うセミオープンシステム（出産は市立病院など3施設、妊婦検診を他施設が実施）や飯田市立病院の医師不足につき説明した後「地域医療の最後の砦として使命感を持って取り組んでいるが国の一層の支援を願う」と述べられました。

## 市と市議会、飯田市立病院の連名による要望書の概要(7項目)

- ◎不採算医療における経費の負担適正化
- ◎病院勤務の医師確保
- ◎産婦人科医療の確保
- ◎救急医療の確保
- ◎がん診療体制の充実
- ◎市町村国保への財政支援
- ◎介護老人保健施設に対する財政支援



病棟を視察



院内を視察

# 面会についてのお願い

午前中の診療やケアをスムーズに行うため面会時間は午後1時～午後8時までと決めておりますが、「外来へ診察に来たついでに」あるいは「病院の近くまで来たので顔を見ていきたい」など午前中から面会に病室へ入られる方がいます。

飯田市立病院には「急性期」の患者さんが多く入院されており、午前中は静かに療養したいという患者さんからのご希望があります。

また、手術の前後など、安静を保ち、感染防止などに対する配慮からも面会時間を守っていただくようお願いいたします。

**面会を希望される場合は、患者さん(同室の方も含みます)の病状等に配慮し、次のことをお守りください。**

## ●面会される方へ (集中治療室、新生児集中治療室は、面会時間が異なります)

◎風邪症状等で体調のすぐれない方や、お子様づれの面会にご遠慮ください。

**お互いの感染をさけるためですので、ぜひお守りください。**

◎患者さんへの負担を考え、少人数・短時間でお願いたします。

**10分くらいで終わっていただくことが適当かと思えます。**

◎面会は原則としてデイルームでお願いたします。

患者さんの病状やご希望により、面会できなかつたり、病室等のご案内ができない場合もありますのでご了承ください。

## ●入院患者さん・ご家族の方へ

面会に来られる方をできる限り少なくされるようご配慮ください。

その上で、面会の必要な方には、病室のほか、面会時間とその厳守についてもお伝えください。

※ 面会についてのお問い合わせ：中央受付（休日・夜間は時間外受付）へどうぞ



# 片町医院

(飯田市南信濃和田)



## 秋葉みちはすべて山の中

片町医院 院長 片町 伊十

かつて遠州秋葉山への通り路として中世から明治にかけて一時賑わいもあったという、辺境の遠山の里へ昭和38年帰郷しました。三年間勤めた組合立病院も水害にて流失した為、41年現在地に開業しました。40年代からは過疎、高齢化が急速に進み、50年代初めには高齢化率はすでに20%を超え、支えを失った老人や老々介護の限界を超えて、老人の自殺という痛ましい社会現象が多数発生しました。貧困、感染症が改善され始めた矢先、社会構造の変化に伴う自死という疫病がこの辺境の村に襲いかかりました。村民が安心して安

全に生きる為に、明確なサポートシステムの構築が必要でした。60年代から平成初年にかけて懸命な取り組みにより、しばらくは平安がみられましたが、昨年から又、老人の自死、孤独死が幾つか発生、平成の姥捨山現象が再現しました。グローバル化や競争社会が、普通に無事に暮らしたいという地域共同体を押しつぶそうとしています。現場で人々に寄り添いながら頑張っている大きな波の襲来に従労感、無力感を感じるばかりです。ただ福祉の背後に医療の支えがあるように、我々出先の現場の背後にも中核病院の存在が大き

な力となり、安心感をもたらしています。心から感謝申し上げますとともに地域のために期待し、御発展を祈念致します。



片町先生(前列左)とスタッフの皆様

**所在地** 〒399-1311 飯田市南信濃和田1107

☎0260-34-2054

**診療科目** 内科 小児科

**受付時間** 8:00~12:00、13:30~17:30

**往診** 有

**休診** 日曜日・祝日

**駐車場** 有



## 院内保育所開設の おしらせ

市立病院では、職員の働きやすい環境(育児と仕事の両立)整備に向けて、4月1日より院内保育所を開設することになりました。



保育士の皆さん

- **施設形態** 事業所内託児所
- **利用対象** 市立病院職員(非常勤、臨時および委託先職員含む)
- **運営形態** 社会福祉法人白鳥会へ委託(飯田中央保育園や育良保育園を運営しています。)
- **定員** 20名

# 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## 羽場 医院

(飯田市駄科)



### お産はお母さんと赤ちゃんの共同作業です

羽場医院 院長 羽場 輝夫 / 副院長 羽場 啓子

#### 整形外科

院長は下久堅出身で新潟大学を卒業し、整形外科医となりました。平成元年飯田に戻り飯田病院に勤務後、平成7年駄科で開院しました。脊椎の外科を専門としたことから、脊椎骨粗鬆症の研究も行い、宇宙旅行による骨量の低下を防止するための仕事をアメリカでも行ったことから、骨密度測定装置(DEXA)を設置し、お産をされたお母さんたちの骨密度の測定し、骨を丈夫にする指導を行っています。またスポーツ認定医としても、スポーツ傷害治療にあたっています。

#### 産婦人科

副院長は東京出身で、大学の同級生だった院長にひっぱられて、下伊那赤十字病院に勤務後開院しました。

陣痛誘発剤はできるだけ使わない、会陰切開はできるだけ行わない、を基本に2,500人の赤ちゃんをとりあげました。自身も4人の子供を産み育てた経験から先輩としてのアドバイスをしています。

開院当初は竜丘地区に医療機関がなかったので、竜丘小学校の学校医となり、それを手始めに地域の健康管理にお役に立ちたいと考えています。

医師不足や出産場所の減少で話題となっている産婦人科ですが、市立病院の産婦人科や小児科の先生がたにお世話になりながら診療をしております。



羽場先生(前列右/中央)とスタッフの皆様

**所在地** 〒399-2561 飯田市駄科536-3

☎0265-28-5151

**診療科目** 整形外科 産婦人科

診療時間 (受付時間)	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00 (8:45~12:20)	整形	整形	産婦	産婦	整形	産婦(毎週) 整形(2,4週)
午後 15:50~19:00 (15:00~18:00)	産婦	整形	整形	産婦	産婦	整形 (1,3,5週)

但し、リハビリは月曜~土曜(木曜を除く)の午前及び午後

**往診** 有 **駐車場** 有

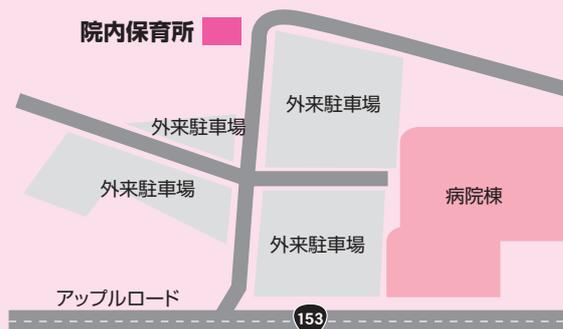


#### サービス内容

形態	利用時間(平日)	対象年齢
月ぎめ	8:00~18:00	0~2歳
月ぎめ(延長)	18:00~20:00	0~2歳
一時預かり	8:00~18:00	0~5歳
時間預かり	8:00~20:00	0~5歳

看護師資格をお持ちの方、飯田市立病院で働いてみませんか。

☎ご相談・申込先 飯田市立病院 庶務課 ☎0265-21-1255 内線2222



# 家庭でできる リハビリテーション

## その5

### 食事でムセることは ありませんか？

- ◎ 最近…食べるとムセる
- ◎ 食事をするとノドに痰が絡んでゼロゼロする
- ◎ 飲み込みにくい、食べ物や水分が鼻から出てくる
- ◎ 食物がノドの奥でつまる など

加齢に伴う変化、脳血管障害の後遺症など原因は様々です。



### 飲み込みにくさ、ムセやすさを感じたら…

あわてず、ゆっくり食べましょう。

良い姿勢で食べましょう。

寝転んだまま食べたり飲んだり、寄りかかって背中を丸めたりして食べるのは止めましょう。  
しっかり起きて座り、顎を少し引いて食べましょう。

### お口の体操をして口やノドの筋肉をしっかり鍛えましょう。

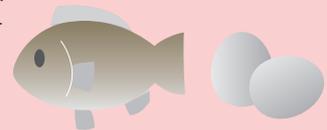


### こんな食品は注意して食べましょう！

**水分** …ノドに素早く流れ込んで危険です  
くず湯のように少しトロツ  
とさせてみましょう。



**パサパサしたおかず** …ノドに絡みやすいです  
焼き魚は鰯かけ、卵は  
半熟卵や温泉卵にして  
みましょう。



**まとまりにくいおかず** …ノドに残りやすいです  
かまぼこ、ごぼう、ちく  
わ、お煎餅など噛むと口  
の中でバラバラ小さい破  
片に砕けてしまうものは  
気をつけましょう。



**べたつく食物** …ノドに張り付きやすいです  
お餅、団子など口の中  
でベタベタし弾力のある  
食品は気をつけて食  
べましょう。



それでも改善しない場合は早めに医師に相談しましょう！

## 検査の窓

その9



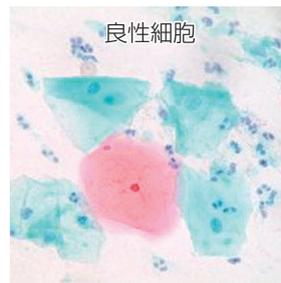
## 「できもの(腫瘍)」ができた時の検査 細胞診検査

細胞診検査は、体内に「できもの(腫瘍)」ができた時、それが良性か悪性かを顕微鏡で観察し診断する検査です。

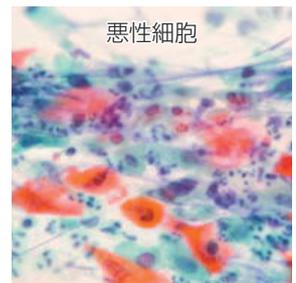
検査の材料には、腫瘍に針を刺し吸引したもの、尿・喀痰などのように体内から排出されたもの、皮膚・婦人科材料のように表面の細胞を擦過(こすり取る)したもの等があります。採取方法が簡便な、喀痰・婦人科細胞診は検診等に広く用いられています。

採取された材料はガラス板に塗りつけて、特殊な染色を施し観察します。顕微鏡下では、細胞はもちろん、細菌などそこに見られる全てのものが対象となり、得られた情報から良・悪性を判断します。

悪性細胞(癌、肉腫)は、良性細胞に比べ、大きさ・形・染色性が明らかに異なるものから、非常に良性細胞に類似しているものまで様々で、また、採取部位によっても形態が異なり一様ではありません。



良性細胞



悪性細胞

典型的な細胞の写真

## 皆様の声に お答えします

 **おかずの味が少しからめ  
なので、お酢と砂糖を多く  
して塩分をもう少し控えめ  
にしてほしいのですが。**

 塩分については、制限のない患者さんは1日10g以下で献立を立てています。ご高齢の患者さんからは味が薄すぎて食べづらいとの声も聞かれますが、常にうす味の食生活をされている方には少し塩分が濃く感じられたのかもしれませんが、大勢の方の食事の基本に沿った献立を変更することはできませんが、個々のご要望に合わせた対応をさせていただきます。味だけでなく食事全般についてご希望がある方は、遠慮なく栄養士または看護師にご相談ください。



## ロビーコンサート

3/10(月)

話題の  
た場

飯田高校の吹奏楽班と合唱班の合同コンサートが玄関ホールで開催されました。合唱班からは「毎日楽しく歌っています」の言葉どおり元気な歌声を十分に聞くことができ、患者さんも楽しんでいる様子うかがえました。また、吹奏楽班の演奏では、軽快なリズムにあわせ体を「ゆりうごかす」患者さんが印象的でした。



## 健康講座

3/15(土)

「メタボリックシンドロームを予防してもっと元気に、スマートに」と題して小林睦博医師(飯田市立病院内分泌科部長)による講演会が開催されました。最近、特に話題となっているテーマのためか、受付時間の1時間前からお見えになっている方や会場となった市立病院の講堂が一杯になるなど、関心の高さを伺わせました。また、管理栄養士による栄養指導では多くの質問が寄せられ、「健康講座」終了後も個別に相談される方がいらっしゃいました。



## ご案内

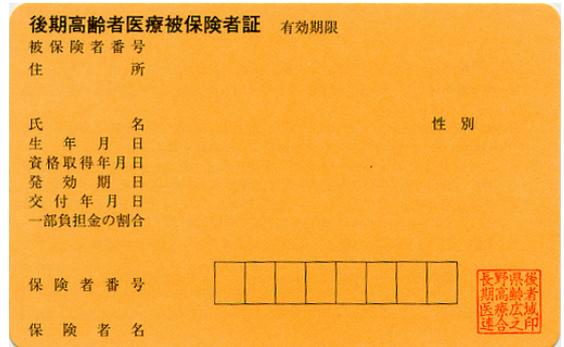
## 後期高齢者医療制度がスタートします

現行の老人保健制度は、平成20年4月から「後期高齢者医療制度」に変わります。対象者は75歳以上の方と、65歳以上75歳未満の方で一定程度の障害の認定を受けた方です。現在加入している医療保険から移行して後期高齢者医療で医療を受けることとなります。

該当される方には新しい

「後期高齢者医療被保険者証」(オレンジ色のカードサイズ)が1人1枚交付されます。そのカードに医療機関で診療を受けるために必要となる情報が記載されていますので月に1度、医療機関の窓口へ必ずご提示ください。

詳しくは、最寄りの市町村役場へお問い合わせください。



## シリーズ ● 職場紹介 ● その18

## 【腎センターの紹介】

腎センターは正面玄関から入って、総合案内の後ろの階段を上った2階にあります。透析室の窓からは風越山が眺められ、四季折々の風景を楽しむ事が出来ます。腎センターは透析器械を18台設置しており、月曜日から土曜日、昼間と夜間の透析を行っています。

患者さんのほとんどは外来患者さんですが、救急センターや病棟から緊急で透析される患者さんが入室されることも度々あります。この緊急透析では、通常行われている透析の

他に、特殊な器械を使用することも多々あります。最近の透析技術は年々高度となっており、器械を扱うことが多いこの部署では、臨床工学技士という器械の専門家が日々管理を行っています。看護師は透析を始める前の段階から関わり、透析の導入、維持透析、腹膜透析をトータルで行っています。

透析室は清潔が最も大切なので、中に入るには許可が必要です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、当院では、開

業医からの紹介や他の透析施設では困難な治療を行う目的でみえる患者さんが増えています。症状が落ち着いた患者さんには、ケースワーカーなどが相談にのり安心して透析が行える施設を紹介させていただいています。



## あ と が き

待ちに待った春がようやく来ました。看護師不足・勤務医不足が深刻な社会問題化している昨今ですが、卒業して間もない初々しい看護師や研修医が、我が病院にあらたな息吹を与えてくれる新年度を迎えます。ずいぶん年をとりいささか疲れ気味の私も若い皆さんの元気、意欲、真摯な態度を見習って、またがんばってゆきたいと思いを新たに作る季節です。我が病院の益々の発展を祈っています。

編集委員 山下俊郎